

小学校 岐阜県 飛騨市	農山村 岐阜県 飛騨市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	青少年教育施設
			体験の分類	自然、奉仕、文化芸術

1. 学校名：飛騨市立宮川小学校（農山村地区・共学・全校児童数 15 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：平成 29 年度 ナチュラル宿泊体験学習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第 3～5 学年・9 名（全員参加型[※ 3 泊：5 学年のみ]）

（2）期日：平成 29 年 5 月 30 日（火）～6 月 2 日（金）3 泊 4 日

（3）宿泊先：青少年教育施設（ナチュラルみやがわ）3 泊

5. ねらい

宮川町の自然と文化、人材を活かした宿泊体験活動を通して、「3つのや」を意識させながら、「組織で動く」児童を育てる（「3つのや」：やる気・役立つ・やり遂げる）。

- ①体験活動を通して、宮川町の豊かな自然や文化を学ぼうとする意欲を育てる
- ②異学年グループ構成による「縦割り集団生活」を通して、自分たちで問題解決する力を育てるとともに、仲間のために働こうとする気持ちを育てる
- ③自分の役割に責任を持ち、やり遂げようとする気持ちを育てる

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床、ラジオ体操 朝の会	起床、ラジオ体操 朝の会	起床、ラジオ体操 朝の会
7時	登校	朝食準備 朝食、片付け、掃除	朝食準備 朝食、片付け、掃除	朝食準備 朝食、片付け、掃除
8時	朝の会	登校(5学年・徒歩) 稚鮎放流(坂上ダム周辺)	登校(3～5学年・徒歩)	※1、2学年 1・2限授業
9時		移動(徒歩→ナチュラル)	あじさいの植樹	掃除、部屋の整頓、点検 閉校式(3、4、5学年)
10時	通常授業	開校式(1～4学年)	3・4限通常授業	3校時 体育(運動公園) ※1、2学年は車で移動
11時		そば打ち体験		
12時	給食		給食	移動(1～5学年・徒歩→学校)、給食
13時	通常授業	魚釣り・つかみ (焼いて食べる) ※1、2学年はスクールバス で下校	移動(3～5学年・徒歩→ ナチュラル)	昼休み、掃除 5校時 振り返りを書く
14時	移動(徒歩→ナチュラル)		学習	終わりの会、下校
15時	開校式(5年生) 荷物整理			
16時	掃除		郷土料理作り	
17時	夕食準備	夕食準備(3、4、5年生)	夕食(3、4、5年生)	
18時	夕食(5年生)	夕食(3、4、5年生)		
19時	片付け、入浴	片付け、入浴	片付け、入浴	
20時	5年の会(5年生)	3～5年の会(3、4、5年生)	3～5年の会(3、4、5年生)	
21時	班会議、読書	班会議、読書	班会議、読書	
22時～	就寝(青少年教育施設)	就寝(青少年教育施設)	就寝(青少年教育施設)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：稚鮎放流、魚釣り・つかみ（イワナ）
- (2) 奉仕：あじさいの植樹
- (3) 文化：そば打ち体験、郷土料理作り



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		各体験の指導者・指導補助員に関する情報提供	宮川下流漁協(稚鮎放流、釣り・魚つかみ) 万波そばの会(そば打ち体験) 飛まわりの会(郷土料理作り)
経費的支援		交通費、宿泊費、食材の負担	飛騨市教育委員会
		指導者・指導補助員の賃金の負担	
情報面の支援		体験指導者等に関する情報提供	飛騨市役所宮川振興事務所
		施設・体験メニュー・受入体制等に関する情報提供	ナチュールみやがわ
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 ナチュールみやがわ
		教員による下見の協力	
		予算額に応じた活動内容の提案	
		施設内・外の食事・宿泊・体験・用具等の手配	
		体験指導者等の手配	
		現地での緊急連絡体制・災害対策の手配	
	活動中	各活動場所の案内	
		現地での緊急連絡体制の設置	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 学校から歩いていける距離にあるので、講師や保護者の協力を得やすかった。
- ・ 宿泊棟及び研修棟など要望に応じて利用することができた。
- ・ 自然観察、調理、魚のつかみ取り、キャンプファイヤーなど、敷地内で行うことができた。
- ・ 近くに消防署（分署）があり、救急連絡体制が整えることができた。

【農山漁村体験の主な受入先】

ナチュールみやがわ（岐阜県飛騨市）

住 所 岐阜県飛騨市宮川町西忍 1 3 5

TEL 0577-63-2195

URL <http://www.miyagawa.org/natule/facilities-overview>

小学校
福岡県
東峰村

農山漁村
福岡県
東峰村

農山漁村
体験活動
の要点

体験の期間

5泊6日

受入先の分類

その他

体験の分類

自然、職業観、文化芸術、交流

1. 学校名：東峰村立東峰小学校（農山漁村地区・共学・全校児童数 94 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：東峰村小学生集団宿泊事業 通学合宿

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第 4～6 学年・46 名（募集参加型）

（2）期日：平成 30 年 5 月 13 日（日）～5 月 18 日（金）5 泊 6 日

（3）宿泊先：社会福祉施設（東峰村立社会福祉施設「喜楽来館」）5 泊

5. ねらい

（1）通学合宿では、日常の家庭生活とは切り離された環境で、異年齢での共同生活や学習活動を行い、生活習慣や学習習慣を定着させ、人間関係形成能力や規範意識と学ぶ意欲を高めること

（2）基本的生活習慣を身に付けたり、体験学習を通して自主性・自発性・協調性を培い、心豊かにたくましく生きる力を育てること

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目
6 時		起床、朝の集い	起床、朝の集い	起床、朝の集い	起床、朝の集い	起床、朝の集い
7 時		朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
8 時		登校(バス)	登校(バス)	登校(バス)	登校(バス)	登校(バス)
9 時						
10 時						
11 時		小学校での授業	小学校での授業	小学校での授業	小学校での授業	小学校での授業
12 時						
13 時					下校(バス)	
14 時	体育館集合 開宿式	下校(バス)	下校(バス)	下校(バス)	通学合宿報告会の 準備(個人単位) けん玉遊び	下校(バス)
15 時	洗濯機の使い方 の説明	自学(予習復習)	自学(予習復習)	自学(予習復習)	自学(予習復習)	大掃除
16 時	夕食準備 掃除	掃除 夕食準備	掃除 夕食準備	掃除 夕食準備	掃除 夕食準備	
17 時	タベの集い・夕食	タベの集い・夕食	タベの集い・夕食	タベの集い・夕食	タベの集い・夕食	タベの集い・夕食
18 時						
19 時	班別活動(班と自分の めあての決定)	村の民話読み聞 かせ	フリー活動	班対抗スポーツ 交流大会の開催	通学合宿報告会 の準備(班単位)	通学合宿報告会 開催(保護者参加)
20 時	入浴・学習・洗濯	入浴・学習・洗濯	入浴・学習・洗濯	入浴・学習・洗濯	入浴・学習・洗濯	閉宿式、解散
21 時 ～	就寝:社会福祉施設(福岡県東峰村)	就寝:社会福祉施設(福岡県東峰村)	就寝:社会福祉施設(福岡県東峰村)	就寝:社会福祉施設(福岡県東峰村)	就寝:社会福祉施設(福岡県東峰村)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：はんごう炊飯
- (2) 職業観：班別活動（掃除当番、食事当番）、各自の洗濯等
- (3) 文化芸術：村の民話読み聞かせ
- (4) 交流：指導者・ボランティア・スタッフ（宿泊、食事、活動指導等）との交流



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		指導者(宿泊・食事等)・ボランティア・スタッフの派遣	東峰村役場
		保健師・看護師の手配	
経済的支援		交通費、宿泊費、指導者、ボランティア、保健師、看護師の費用負担	
情報面の支援		宿泊学習の資料・教材の提供	
		本事業の制度、受入先の情報、効果測定方法の紹介	
		教員向け研修会、実施報告会の開催	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 東峰村通学合宿実行委員会
		教員による下見の協力	
		食事・宿泊・活動場所・用具・移動手段等の手配	
		指導者(宿泊・食事等)・ボランティア・スタッフ等による打合せ	
		保健師・看護師の手配	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		現地での緊急連絡体制・災害対策の手配	
		損害賠償責任保険の加入	
		事前学習・保護者説明会への人材派遣	
		アレルギー等を抱える各児童の配慮の手配	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		指導員・ボランティア・スタッフの派遣	
		スクールバスによる移動	
		緊急連絡体制の設置(村内の医療機関等との連携)	
	活動後	諸費用の精算の取りまとめ(精算手続きの簡素化)	
		参加児童のアンケート調査の分析・考察	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 東峰村通学合宿実行委員会が派遣される宿泊や食事等の指導者、ボランティア、スタッフの役割を明確に割り当てられているので、本事業のねらいに即した安全・安心な活動を行えた。
- ・ 宿泊施設には洗濯・入浴等の設備が備わっているため、長期宿泊を行いやすかった。
- ・ 宿泊施設は通学可能な距離にあり、保護者が通学合宿報告会（児童の発表等）に参加できた。

【農山漁村体験の受入先】

東峰村通学合宿実行委員会

住所 福岡県朝倉郡東峰村大字宝珠山 6425 東峰村役場 宝珠山庁舎（教育課内）

小学校
福岡県
福智町

農山村
福岡県
福智町

農山漁村
体験活動
の要点

体験の期間

3泊4日

受入先の分類

青少年教育施設

体験の分類

自然、文化芸術、交流

1. 学校名：福智町立弁城小学校（農山村地区・共学・全校児童数 82 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：弁城小学校宿泊体験活動

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第 4～6 学年・36 名（全員参加型）

（2）期日：平成 29 年 8 月 21 日（月）～8 月 24 日（木）3 泊 4 日

（3）宿泊先：青少年教育施設（ふれあい塾）3 泊

5. ねらい

テーマ「自立」～困難克服体験を通して～

- ・ 3 泊 4 日の自然体験活動を通じて『自分のことは自分でできる力』を身につける。
- ・ たて割り班を中心とした集団生活のなかで、助け合う気持ちや責任感を持つ。
- ・ 友達と協力することの大切さ楽しさを味わい、友情を深める。
- ・ 安全に気をつけて活動する。
- ・ 健康や体力に自信をつける。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6 時		起床・朝の集い 朝食準備・朝食・片付け 弁当準備（おにぎり）	起床・朝の集い（5 時） プログラム 2「登山」 下山・青少年教育施設着 朝食準備 朝食・片付け	起床・朝の集い 朝食準備 朝食・片付け 清掃・片付け・荷物の整理
7 時				
8 時		出発準備		
9 時		青少年教育施設発・移動 スキー場着	掃除	閉塾式 青少年教育施設発 移動（徒歩） 学校到着
10 時			活動	
11 時		プログラム 1「スキー」		
12 時		途中、昼食（弁当）	昼食（弁当）	
13 時	出発（たて割り班ごと） 移動（徒歩） 青少年教育施設着		プログラム 3「陶芸体験・ 上野焼」	
14 時				
15 時	入塾式・オリエンテーリング	スキー場発・移動		
16 時	夕食準備	青少年教育施設着 夕食準備	夕食準備	
17 時	夕食	夕食	夕食	
18 時	後片付け	後片付け	食器・炊飯道具の点検返却	
19 時	入浴	入浴	入浴	
20 時	タベの集い「振り返り学習」	タベの集い「星の観察」	タベの集い「振り返り」	
21 時 ～	打合せ（5・6 学年対象） 就寝：青少年教育施設 （福岡県福智町）	打合せ（5・6 学年対象） 就寝：青少年教育施設 （福岡県福智町）	打合せ（5・6 学年対象） 就寝：青少年教育施設 （福岡県福智町）	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：飯ごう炊飯、スキー、星の観察、登山
- (2) 文化芸術：陶芸体験(上野焼（国指定伝統的工芸品）)
- (3) 交流：児童同士（たて割り班活動）



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		陶芸体験の指導員の手配	上野焼協同組合
経済的支援		宿泊費の負担	福智町
		陶芸体験の指導者に係る費用負担（無償）	上野焼協同組合
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	体験メニュー・設備・受入体制等に関する情報提供	【農山漁村体験の受入先】 ふれあい塾 (福智町役場生涯学習課)
		教員による下見の協力	
		青少年教育施設での食事・宿泊・体験・用具等の手配	
		青少年教育施設との緊急連絡体制の整備	
		青少年教育施設との災害対策の準備	
		アレルギー等を抱える各児童への配慮の準備	
	活動中	各活動場所への案内	
	活動後	陶芸体験の成果品の送付	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 宿泊施設が学校から近い距離にあるので、鍛錬を目的とした徒歩での移動を行うことができた。
- ・ 町立の教育施設であるので、施設利用料が免除された（保護者負担の軽減）。
- ・ 教育を目的とした設備があるので、自立・協力を目的とした活動（飯ごう炊飯等）を行えた。

【農山漁村体験の受入先】

ふれあい塾

福岡県田川郡福智町福智町神崎 1094 番地 1

TEL 0947-22-5400

URL <http://www.town.fukuchi.lg.jp/soshiki/gakushu/syakaikyoiku/173.html>

小学校 東京都 武蔵野市	農山村 富山県 南砺市	農山漁村 体験活動 の特色	体験の期間	7泊8日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、職業観(農・林)、文化芸術、交流

1. 学校名：武蔵野市立第二小学校（住宅地区・共学・全校児童数 392 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：武蔵野市セカンドスクール

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第5学年・69 名（全員参加型）

（2）期日：平成 29 年 9 月 24 日（日）～10 月 1 日（日）7 泊 8 日

（3）宿泊先：民宿（ホームステイ・分泊）7 泊

5. ねらい

（1）利賀村の自然や人々の生活などについて自ら課題をもち、主体的に追究する力を付ける。

（2）利賀村の人々と心の交流をし、自然の中で豊かな体験活動をするを通して、自然や利賀村の暮らしに対する興味関心を高める。

（3）日本の国土や森林の様子を知り、森林のはたらきをもとに環境と人とのかかわりについて様々な考え方を身に付ける。

（4）学習したことを工夫してまとめ、伝える力を付ける。

（5）体験を通して、健康・安全及び集団生活や公衆道徳のルールやマナーを学ぶ。

	1日目	2日目	3日目	4日目		
6時		起床	起床	起床		
7時	集合・出発式	朝食	朝食・移動	朝食		
8時	武蔵境駅着	地域散策		移動		
9時	東京駅発 移動(新幹線)	そば打ち体験	山登り ・ロンレー ・昼食 ・峠の一本杉 ・そばの郷	朝会 林業体験		
10時		昼食		昼食 イワナつかみ体験		
11時	稲刈り体験					
12時		新高岡駅着・移動(バス)				
13時	新高岡駅発					
14時	利賀村着 開校式					
15時	民宿着					
16時	はし作り	民宿着	民宿着	民宿着		
17時	入浴	入浴	入浴	入浴		
18時	夕食	夕食	夕食	夕食		
19時		民宿の方のお話	手紙書き(家族へ)	民宿の方のお話		
20時						
21時 ～	就寝(民宿)	就寝(民宿)	就寝(民宿)	就寝(民宿)		
	5日目	6日目	7日目	8日目		
6時	起床	起床	起床	起床		
7時	朝食・移動	朝食・移動	朝食・移動	朝食・移動		
8時				閉校式・利賀村発		
9時	課題別学習	利賀小との交流	相倉合掌集落の見学	移動(バス)		
10時						
11時	昼食	給食(昼食)	民宿着・昼食	新高岡駅発		
12時	そばの郷資料館の見学	わら細工作り	民宿ごとの活動	移動・昼食(新幹線)		
13時	民宿ごとの活動			東京駅着		
14時		東京駅発、武蔵境駅着				
15時				解散式 解散		
16時	入浴	入浴	入浴			
17時	夕食	夕食	夕食			
18時	ありがたい会の会の準備	ありがたい会の会の準備	ありがたい会の会の開催 (民宿の方)			
19時						
20時						
21時 ～	就寝(民宿)	就寝(民宿)	就寝(民宿)			

※教科等の位置付け：総合的な学習の時間「利賀の森は地球を守る」(山登りと林業体験、民宿の方に森林や自然についてのお話を伺うこと)

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：山登り、インタープリターとともに行く原生林の散策、地域の方を講師とした自然観察
- (2) 職業観：稲刈り(手刈り・はさがけ・千歯こき)、ライスセンターの見学、林業体験(伐木見学、ノコギリ体験)
- (3) 文化芸術：わら細工作り、餅つき、五平餅づくり、そば打ち、伝統民謡「麦屋節」の練習
- (4) 交流：地元小学校との交流会、民宿の方との交流(竹箸づくり、各民宿での体験やお話等)



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		現地の体験指導者の手配(自然体験、農業体験)	南砺市利賀地域長期宿泊体験協議会
		生活指導員の手配(市教育委員会の登録者)、看護師の派遣 往復交通費・宿泊費・現地の活動費用(但し、食事代は除く)	
経費的支援		現地の体験指導者の謝礼	武蔵野市教育委員会 (武蔵野市セカンドスクール)
		生活指導員の謝礼・宿泊代等	
		看護師に係る経費	
情報面の支援		生活指導員の情報提供(市教育委員会の登録者)	
		予算手続きに関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 南砺市利賀地域長期宿泊体験協議会
		南砺市利賀地域の地域資源・受入体制等に関する情報提供	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案	
		現地での食事・宿泊・体験・移動等の手配(ホテル、民宿等)	
		交流先との事前調整(現地の小学校、各民宿等)	
		荒天時の代替プログラムの手配	
		南砺市利賀地域での緊急連絡と災害対策の手配	
	活動中	民宿等へのアレルギー等の配慮の手配	
		損害賠償責任保険の加入(民宿等)	
		引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
	活動後	引率教員による南砺市内での移動・指導の協力	
		南砺市利賀地域での緊急連絡体制の設置	
		南砺市利賀地域での諸費用の一括精算(手続きの簡素化)	
		事後学習への人材派遣	
		農山漁村体験の成果品等の送付	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ この活動は 20 年前から実施しているので、受入先と協働で取り組むことができた。
- ・ 民宿をはじめ現地の多くの方々による支えによって、1 週間という長期間の中で、児童は友達と深く関わり、様々なことを乗り越えることができた。
- ・ 豊かな自然環境の中でも現地の受入体制があるので、児童の安全に配慮した活動を行えた。

【農山漁村体験の受入先】

南砺市利賀地域長期宿泊体験協議会（富山県南砺市） 連絡窓口：南砺市商工会利賀村事務所

住 所 富山県南砺市利賀村 171

T E L 0 7 6 3 - 6 8 - 2 5 2 7 U R L <https://www.shokoren-toyama.or.jp/~toga/>

小学校 神奈川県 藤沢市	農山村 新潟県 十日町市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	受入地域協議会
			体験の分類	自然、文化芸術、交流

1. 学校名：湘南学園小学校（住宅地区・共学・全校児童数 587 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：5 年生「雪の学校」

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第 5 学年・95 名（全員参加型）

（2）期日：平成 30 年 1 月 16 日（火）～ 1 月 19 日（金）3 泊 4 日

（3）宿泊先：温泉宿泊施設 2 泊、民泊（ホームステイ）1 泊

5. ねらい

（1）雪国の暮らしを体験し、人と人、人と自然との関わりを大切にする。

（2）自分を見つめ直し、人間性をより豊かにする。

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目
6 時		起床	起床	起床
7 時		片付け・活動準備	片付け・活動準備	片付け・活動準備
8 時		朝食	部屋の片付け・掃除・整理整頓	朝食
9 時		集合	朝食	民泊発
10 時	東京駅集合・発	温泉宿泊施設発	集合	移動(バス)
11 時	移動(鉄道)	移動(バス)	温泉宿泊施設発	地区ごとのお別れ会
12 時	昼食(車内・弁当)	移動(バス)～スノーシュー体験～昼食～わら細工体験～移動(バス)	移動(バス)	移動(バス)
13 時	越後湯沢駅着・乗換	①A グループ	各民泊着	まつだい駅集合
14 時	まつだい駅着	移動(バス)～スノーシュー体験～移動(バス)	民泊家庭との自己紹介	グループ別行動
15 時	移動(バス)	②B グループ	昼食のお手伝い	①講話
16 時	温泉宿泊施設着	移動(バス)～わら細工体験～昼食～スノーシュー体験～移動(バス)	昼食	②郷土資料館
17 時	入村式	温泉宿泊施設着	各民泊での体験	昼食
18 時	着替え	翌日の民泊準備	(各家庭の家事・農作業等)	まつだい駅発
19 時	雪遊び	夕食	夕食のお手伝い	移動(鉄道)
20 時	各自部屋への移動	入浴	夕食	越後湯沢駅着・乗換
21 時	入浴	お土産購入	民泊家庭との団らん	移動(鉄道)
22 時	夕食	クラスミーティング	入浴	東京駅着・解散
23 時	昔遊び、昔話	就寝準備・荷物整理灯	就寝：民泊	
24 時	就寝(温泉宿泊施設)	就寝(温泉宿泊施設)		

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：雪遊び、スノーシュー体験
- (2) 文化芸術：語り部の昔話、わら細工体験、郷土資料館の見学
- (3) 交流：各民泊家庭の家族



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

学校外の施設・組織による支援策		支援先の名称	
人的支援	現地の体験指導者・指導補助員の手配	【農山漁村体験の受入先】 越後田舎体験推進協議会 (事務局:雪だるま財団)	
情報面の支援	民泊家庭・現地の体験指導者等に関する情報提供		
	宿泊学習に関連する資料・教材の提供		
	十日町市の地域資源・体験・受入体制等に関する情報提供		
受入先による農山漁村体験の支援	活動前		学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置
			アレルギー等を考慮した民泊先のコーディネート
			十日町市内での食事・宿泊・体験・指導者・移動手段等の手配
			荒天時の代替プログラムの用意
			十日町市内での緊急連絡・災害対策の手配
			受入先による損害賠償責任保険の加入
			アレルギー・障がい等を抱える各児童の配慮の手配
			民泊先と児童との手紙による事前交流の手配
	活動中		引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置
			引率教員による指導への協力
		現地での緊急連絡体制の設置	
	活動後	現地の諸費用の一括精算(精算手続きの簡素化)	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・民泊受入先の確保・コーディネートについておまかせできた。
- ・病気やケガ等の対応を確実にできる体制ができていたので、分泊中でも安心して活動を行えた。
- ・地域の暮らし(雪国の生活)に関する具体的な苦労や工夫等を実体験として学ぶことができた。

【農山漁村体験の受入先】

越後田舎体験推進協議会（新潟県上越市） 窓口組織：公益財団法人雪だるま財団

住所 新潟県上越市安塚区安塚 722-3

TEL 025-592-3988

URL <http://www.echigo-inakataiken.jp/>

小学校 新潟県 南魚沼市	農山村 新潟県 妙高市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	4泊5日
			受入先の分類	受入地域協議会、青少年教育施設
			体験の分類	自然、奉仕、職業観(農)、文化芸術、交流

1. 学校名：南魚沼市立五十沢小学校（農山村地区・共学・全校児童数 168 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：長期宿泊自然体験活動 in 妙高 2017

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第5学年・28 名（全員参加型）

（2）期日：平成 29 年 10 月 2 日（月）～10 月 6 日（金）4 泊 5 日

（3）宿泊先：青少年教育施設（国立妙高青少年自然の家）2 泊、農家民宿（分泊）2 泊

5. ねらい

- （1）困難に対して他者と協力しながら支え、支えられる自分と仲間の存在に感謝する活動を取り入れながら自尊、互尊感情を一層高める。
- （2）日々の生活とは違うリズムで生活することにより、協調性、規範意識などの社会性をはぐくむ。
- （3）自然の中で積極的にかかわり、さまざまな体験を通して自然に親しみ、自然愛護・環境保全の心を育てる。

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
6 時		起床 荷物準備	起床 荷物準備	起床 荷物準備	起床 荷物準備
7 時	学校集合・発	つどい 朝食 荷物準備	朝食	朝食 荷物整理・清掃 民宿発	つどい 朝食
8 時					宿舎清掃、荷物確認
9 時	移動(バス)	移動 民宿家族との対面式		移動	
10 時		移動(各農家民宿へ) 各民宿着		お別れ会(手紙)	森の壁掛け製作
11 時	青少年自然の家着 開村式		各民宿での生活体験	移動 青少年自然の家着	閉村式 昼食
12 時	昼食	各民宿での生活体験 (例)	途中、昼食・夕食 を含む	昼食	青少年自然の家発
13 時		・民具の見学			
14 時		・苗名滝つぼウォーク		オリエンテーリング	移動(バス)
15 時	妙高アドベンチャー	・民宿のお手伝い	民宿家族との団らん		
16 時		・郷土料理づくり		活動の振り返り (新聞づくり)	学校着・解散
17 時	宿舎整理 夕食	途中、昼食・夕食 を含む		夕食	
18 時	自由時間		移動(体験会場へ)		
19 時	秋の星座観察	民宿家族との団らん	郷土芸能「春駒」体験	キャンプファイヤー	
20 時	入浴	入浴 自由時間	移動(民宿着) 入浴	入浴	
21 時 ～	振り返り 就寝：青少年教育施設 (新潟県妙高市)	振り返り 就寝：農家民宿 (新潟県妙高市)	家族への手紙づくり 振り返り 就寝：農家民宿 (新潟県妙高市)	振り返り 就寝：青少年教育施設 (新潟県妙高市)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：秋の星座観察、オリエンテーリング、キャンプファイヤー
- (2) 奉仕：国立妙高青少年自然の家での宿舎清掃
- (3) 職業観：農家民宿での生活体験
- (4) 文化芸術：郷土芸能「春駒」体験
- (5) 交流：農家民宿の家族（生活体験の指導・団らん）



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		指導員の確保	国立妙高青少年自然の家
		農家民宿の手配（各農家民宿との事前打合せ等）	妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会
		体験指導者の確保	
経費的支援		体験指導料・講師指導料の負担	（公社）にいがた緑の百年物語緑化推進委員会
情報面の支援		妙高市の地域資源・受入体制等に関する情報提供	妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会
		施設での体験・食事・受入体制等に関する情報提供	国立妙高青少年自然の家
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 〈妙高市内での調整、農家民宿の手配等〉 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会
		教員による下見の協力	
		宿泊学習の計画策定等の協力	
		学校のねらいに応じたプログラムの創作・手配	
		妙高市内での食事・宿泊・体験・移動等の手配	
		事前学習・保護者説明会への人材派遣	
		現地での緊急連絡体制・災害対策の手配	
		アレルギー等を抱える各児童の配慮の手配	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	〈本施設での宿泊・活動の手配等〉 国立妙高青少年自然の家
		引率教員による指導の協力	
		妙高市内の各活動場所の移動・案内	
		現地での緊急連絡体制の設置	
	活動後	妙高市内での諸費用の一括精算（手続きの簡素化）	
		活動発表会への人材派遣	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 1つの宿舎に泊まる児童数やアレルギーの対応など、児童一人一人について事前に相談することができるので、安心してねらいに沿った活動を行うことができた。
- ・ 児童と保護者が参加する事前の説明会では、写真等をふんだんに使った分かりやすい説明をしてくれるので、活動内容の理解と不安の解消を図ることができた。

【農山漁村体験の受入先の紹介】

（一社）妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会（新潟県妙高市）

住 所 新潟県妙高市関山 6186-1 妙高山麓都市農村交流施設

TEL 0255-82-3935 URL <http://myoko-gt.com/>

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立妙高青少年自然の家（新潟県妙高市）

住 所 新潟県妙高市関山 6323-2

TEL 0255-82-4321 URL <https://myoko.niye.go.jp/>

小学校 新潟県 胎内市 農山漁村 新潟県 胎内市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	4泊5日
		受入先の分類	受入地域協議会
		体験の分類	自然、職場観(農・他)、文化芸術、交流

1. 学校名：胎内市立中条小学校（農山漁村地区・共学・全校児童数 448 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：ふるさと体験学習「つばさっ子体験隊Ⅱ」

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第5学年・78名（全員参加型）

（2）期日：平成28年9月12日（月）～9月16日（金）4泊5日

（3）宿泊先：青少年教育施設（胎内アウレツ館）3泊、農家（ホームステイ・分泊）1泊

5. ねらい

（1）胎内市の自然、歴史、文化、産業等を活用する体験活動を通して、「ふるさと胎内市のよさ」を再発見し、地域を愛する心を育む（郷土への愛着＜郷土愛＞）

（2）自分たちが住む胎内市での農家泊での地域の人々との交流を通して、主体的にコミュニケーションをとろうとする能力を培う（人間関係形成・社会形成能力＜かかわる力＞）

（3）集団生活で互いに協力したり、自分の役割を責任をもって取り組んだりして、友達や自分のよさに気づき、互いに認め合う人間関係を築く（自己理解・自己管理能力＜見つめる力＞）

（4）米粉や市の特産品等の開発に尽力する人々の思いや願いに触れる活動を通して、働くことの大切さ、苦勞、喜びを知るとともに、その生き方や考え方について自分の考えをもつ（キャリアプランニング能力＜夢おこす力＞）

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目
6時		起床	起床	起床	起床
7時		朝の集い 朝食	朝食	朝の集い、朝食 班長会議	朝の集い、朝食 班長会議
8時	学校集合・発		各農家 出発		荷物整理・部屋清掃 部屋点検
9時	米粉の製粉工場見学	米粉クッキング ↓ 昼食	青少年教育施設 着		
10時	入館式 米粉クッキング ↓		テーマ別学習 ・米粉ちぢみづくり ・米粉シチューづくり ・米粉ピザづくり	ブドウ狩り	野外炊さん (米粉カレー) ↓ 昼食
11時	昼食(米粉パスタ)		昼食	昼食	
12時		農家に泊まる準備 移動(複数農家に分宿) 各受入農家着			
13時	胎内市の歴史体験 (勾玉作り、縄文衣装 体験石器作り、弓矢、 旧街道探検、火起こし、 縄文クッキー作り)	農村生活体験 (各受入農家での交流・体験)	テーマ別学習 「胎内市の自然」 ・奥胎内ブナ林散策 ・胎内平周辺散策 ・夏井周辺散策	胎内市の特産品学習 テーマ別学習のまとめ	片付け
14時			テーマ別学習の整理		別れの集い・出発
15時					学校着
16時	青少年教育施設 着				
17時	夕食	夕食	夕食	夕食 班長会議	
18時		交流			
19時	入浴	入浴	天体観測 入浴	キャンプファイヤー 入浴	
20時					
21時 ～	就寝：青少年教育施設 (新潟県胎内市)	就寝：各受入農家 (新潟県胎内市)	就寝：青少年教育施設 (新潟県胎内市)	就寝：青少年教育施設 (新潟県胎内市)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：胎内市の自然散策、天体観測、キャンプファイヤー
- (2) 職業観：米粉の製粉工場見学、米粉クッキング、農村生活体験、胎内市の特産品学習、ブドウ狩り
- (3) 文化芸術：胎内市の歴史体験
- (4) 交流：受入農家の家族（農家での農村生活体験）



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		野外炊さんのボランティア（作業補助、材料運搬、児童の支援）	保護者の有志
経費的支援		宿泊費・食費・体験活動費の負担（補助率：経費の2／3）	胎内市教育委員会
情報面の支援		学校向けの教材・効果測定用資料等の提供	
		教員向け研修の開催	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	胎内市の地域資源・受入体制等に関する情報提供（DVD、写真データ等）	【農山漁村体験の受入先】 胎内型ツーリズム 推進協議会301人会 （胎内市役所農林水産課）
		学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		学校のねらいと予算額に応じた体験プログラムの提案	
		教員による下見の協力	
		胎内市の受入農家・青少年教育施設等の手配（宿泊・食事・体験・移動等）	
		胎内市の見学先・屋外活動の手配（米粉製粉工場、歴史体験・散策等）	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		現地での緊急連絡体制の構築	
	活動中	アレルギー・発達障害等を抱える各児童の配慮の手配（受入農家、青少年教育施設、指導者等）	
		引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		各活動の実施協力（当日の準備・案内・指導者の配置等）	
		現地での緊急連絡体制の設置	
	活動後	胎内市内での諸費用の一括精算（精算手続きの簡素化）	
		受入農家と学校との意見交換会の開催	
		市内学校との情報交換会の開催	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・市教育委員会と市農林水産課による綿密な打ち合わせを通じた協力体制・役割分担をできており、活動実施先の交渉、計画策定の協力、アレルギーの配慮、当日キャンセル等に対応してもらえた。（教員は多忙感なく児童の対応に集中できる。）
- ・事後に受入農家と学校との意見交換の機会を設けてくれた。（受入農家や各学習でお世話になった方々の意見や感想を伺うことで本活動の振り返りを行える。）
- ・児童が胎内市の特産品・自然・地域・歴史等をイメージできる学習を容易に行えた。

【農山漁村体験の受入先】

胎内型ツーリズム推進協議会301人会（新潟県胎内市）窓口組織：胎内市役所農林水産課

住所 新潟県胎内市夏井 1191-1 胎内アウレツ館内

TEL 0254-48-3321 URL <http://tainai301.seesaa.net/>

小学校 京都府 京都市	農山村 京都府 京都市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	4泊5日
			受入先の分類	青少年教育施設
			体験の分類	自然

1. 学校名：京都市立室町小学校（住宅地区・共学・全校児童数 263 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：花背山の家 野外学習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第5学年・39名（全員参加型）

（2）期日：平成29年5月29日（月）～6月2日（金）4泊5日

（3）宿泊先：青少年教育施設（京都市野外活動施設 花背山の家）4泊

※内訳：テント2泊、ロッジ2泊

5. ねらい

（1）自然の中での活動や体験を通して、自然や命の大切さを学ぶ

（2）集団生活・活動を通して、責任感や連帯感、協力する心を培う

【今日のめあての設定】

1日目：友情 2日目：協力 3日目：自然生命 4日目：挑戦 5日目：感謝

	1日目	2日目	3日目	4日目	5日目	
6時		起床・洗面・整理	起床・洗面・整理	起床・洗面・整理	起床・洗面・整理・掃除	
7時		朝の集い・朝食	4校合同の集い	朝の集い・朝食	朝の集い・朝食	
8時	学校集合・出発式		朝食			
9時	バス移動	火おこし 野外炊事① (互いの協力) 昼食	魚つかみ 野外炊事② (魚捌き→塩焼き)	雲取北峰の登山	アスレチック活動	
10時	入所式				昼食	全体のめあて交流会 今日のめあて「感謝」 (5日間のふり返り)
11時	荷物整理		昼食			昼食
12時	昼食					
13時	5日間使う竹箸作り	フライングディスクゴルフ	テントの片づけ		学校到着 解散式	退所式
14時						
15時						
16時	テント設営、就寝準備	野外炊事③	入浴			
17時	入浴	夕食	シーツの受け取り	夕食		
18時	夕食	入浴	夕食	キャンプファイヤー		
19時	ボンファイヤー	天体観測	入浴			
20時	今日のめあて「友情」 のふり返り	今日のめあて「協力」 のふり返り	今日のめあて「自然生 命」のふり返り	今日のめあて「挑戦」 のふり返り		
21時 ～	就寝:テント (京都府京都市)	就寝:テント (京都府京都市)	就寝:ロッジ (京都府京都市)	就寝:ロッジ (京都府京都市)		

※教科等の割り当ての時間：学校行事30時間、学級活動6時間

6. 実施した農山漁村体験

自然：5日間使う竹箸作り、テント設営、野外炊事、天体観測、魚つかみ・魚さばき、キャンプファイヤー、雲取北峰登山



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		受入先(青少年教育施設)での教員を支援できる人材の配置 (京都市教育委員会指導主事、養護担当者、体験指導者等)	京都市教育委員会
経費的支援		学校ごとの活動予算の配分	
情報面の支援		体験メニュー・受入体制等に関する情報提供	【農山漁村体験の受入先】 京都市野外活動施設 花背山の家 (京都市教育委員会による運営)
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	受入先(青少年教育施設)での相談できる担当者の配置 (京都市教育委員会指導主事)	
		教員による下見の協力	
		本活動の計画策定に係る助言・指導	
		本活動での食事・宿泊・体験の手配	
		引率教員を対象にした体験指導研修の開催	
		荒天時の代替プログラムの手配	
		緊急時の対応の確認	
		アレルギー等を抱える各児童の配慮の用意	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による体験指導の補助者の配置	
		アレルギー等を持つ児童の配慮の実施(食事、食体験等)	
		現地での緊急連絡体制の設置	
	活動後	現地の諸費用の一括精算(清算手続きの簡素化)	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 本活動の計画策定の際に指導・助言をしてもらえた。
- ・ 事前に引率教員を対象に体験の指導方法を教えてもらえた。
- ・ 個別に配慮が必要な児童や緊急時の対策をしてもらえた。
- ・ 学校のねらいに即した学習を行える環境を整えてもらえた。

【農山漁村体験の受入先】

京都市野外活動施設 花背山の家（京都府京都市）

住 所 京都市左京区花脊別所町 399 番地

TEL 075-746-0717

URL <http://web.kyoto-inet.or.jp/org/hanasell/index.html>

小学校 兵庫県 西宮市	農山村 兵庫県 朝来市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	4泊5日
			受入先の分類	青少年教育施設、その他
			体験の分類	自然、職業観(林・他)、文化芸術、交流

1. 学校名：西宮市立今津小学校（商業・工業地区・共学・全校児童数 476 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：人・仕事・自然との出会いの旅 in 山東～地域をつなぐ・守る・伝える～

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第5学年・69 名（全員参加型）

（2）期日：平成 29 年 10 月 2 日（月）～6 日（金）4 泊 5 日

（3）宿泊先：青少年教育施設（西宮市立山東自然の家）4 泊

5. ねらい

（1）日常では経験できない自然に親しみ、豊かな感性を養う。

（2）集団宿泊生活や現地でのふれあいを通して、他者と関わりながらよりよい生活を目指す姿勢を育てる。

（3）地域の伝統産業やコミュニティとの体験活動を通して、それぞれの仕事や自治の良さ・課題を発見し解決しようとする態度や行動を育てる。

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
6 時		起床・掃除	起床・掃除	起床・掃除	起床・掃除
7 時		朝の集い・朝食	朝の集い・朝食	朝の集い・朝食	朝の集い・朝食
8 時	集合・出発式				
9 時	移動				清掃活動
10 時	陶の里（陶芸教室）	山東町なみウォーク ラリー【総合】	木フォルダー作り	野外炊飯 カレーライス作り	閉校式
11 時					有馬富士公園着
12 時	昼食	昼食	昼食		昼食
13 時	移動	学ぼう！梁瀬地区の 町づくり【総合】	焼き板・トーチ棒 作り	朝来専門学校！朝来 市のいいところ自 慢！【総合】	有馬富士公園の自治 【総合】
14 時	森林・林業を学ぶ 【総合】	講師：自治会長、事務 局長		講師：経済振興課職 員、地域産業社長	講師：地域住民
15 時	自然の家着 開校式				移動
16 時	オリエンテーリング	家族への手紙タイム	スタント練習① 【特活】	スタント練習③ 【特活】	学校着・帰校式
17 時	入浴・夕食	入浴・夕食	入浴・夕食	入浴・夕食	
18 時					
19 時	鳴尾東小学校との 交流会【特活】	ナイトウォーク	スタント練習② 【特活】	キャンプファイヤー クラス会議、就寝 【特活】	
20 時 ～	係・班会議、就寝 【特活】	係・班会議、就寝 【特活】	係・班会議、就寝 【特活】		
	就寝：青少年教育施設	就寝：青少年教育施設	就寝：青少年教育施設	就寝：青少年教育施設	

※【 】内は当該活動を授業として位置付けた教科等を明記しています。

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：オリエンテーリング、山東町なみウォークラリー、ナイトウォーク、野外炊飯等
- (2) 職業観：森林・林業を学ぶ、朝来専門学校！朝来市のいいところ自慢！
- (3) 文化芸術：陶芸教室、木フォルダー作り、焼き板・トーチ棒作り
- (4) 交流：鳴尾東小学校との交流会、地元講師との交流（学ぼう！梁瀬地区の町づくり、有馬富士公園の自治）



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援策の名称
人的支援		指導補助員・看護師の手配	西宮市教育委員会
経費的支援		指導者・指導補助員・看護師の賃金・滞在費の負担	兵庫県教育委員会 西宮市教育委員会
情報面の支援		指導補助員・教材・研修・助成制度等に関する情報提供 朝来市の地域資源・体験・指導者・受入体制等に関する情報提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 梁瀬地域自治協議会 朝来市役所経済振興課 西宮市立山東自然の家 兵庫県立農林水産技術総合センター
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じた活動内容の提案・調整・手配	
		本宿泊体験学習の計画策定等の協力	
		朝来市での食事・宿泊・体験・指導者・講師・移動手段等の手配	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		現地での緊急連絡体制・災害対策の手配	
		アレルギーや発達障がい等を抱える各児童の配慮の手配	
		事前学習に必要な教材の提供	
	活動中	教員への事業・活動の紹介や解説	
		引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		各活動場所への移動・案内	
		体験用学習教材の提供(児童の人数分)	
	活動後	現地での緊急連絡体制の設置	
		現地の諸費用の一括精算（精算手続きの簡素化） 次年度の宿泊体験につながるプログラムの更新	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・児童の居住地にはない豊かな自然と関連するくらしや産業、そこに関わる人々との出会いがある。
- ・利用しやすい施設、設備で、安全性、緊急時の対応も確立している。
- ・施設、設備利用、地域の講師依頼、児童のアレルギー対応、活動の変更などに関する施設との詳細な打ち合わせや臨機応変な対応がスムーズにできる。
- ・例年の活用の履歴があり、活動内容の引き継ぎや更新がしやすい。

【農山漁村体験の主な受入先】

梁瀬地域自治協議会（兵庫県朝来市）

住所 兵庫県朝来市山東町末歳 710 番地 TEL 079-676-4701

朝来市役所経済振興課（兵庫県朝来市） 連絡窓口：朝来市役所経済振興課

住所 兵庫県朝来市和田山町東谷 213 番地 1 TEL 079-672-2816

小学校 広島県 三次市	農山村 広島県 三次市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	その他
			体験の分類	自然、奉仕、文化芸術、交流、その他

1. 学校名：三次市立三和小学校（農山村地区・共学・全校児童数 89 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：みわ版わくわく体験活動

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第5学年・15名（全員参加型）

（2）期日：平成30年6月12日（火）～6月15日（金）3泊4日

（3）宿泊先：宿泊施設（運営：広島ふるさと村運営推進協議会）3泊

5. ねらい

（1）共同生活を通して、自主性と責任感、思いやりの心や協力の大切さを感じさせる。

（2）自律の心とよりよい人間関係をつくろうとする意欲と実践力を培う。

（3）自然体験活動等を通して、自然に対する関心を育てる。

（4）三次市や三和町の人・自然・産業や文化・歴史に触れ、三次市や三和町に愛着をもち、地元を誇りに思う心情や態度を培う。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床	起床	起床
7時		朝食	朝食作り	朝食
8時		学校での学活		清掃活動
9時	地元講師による創作活動 「パフォーマンス書道」	スポーツ吹き矢 福祉体験(老人疑似体験)	和牛飼育体験	大土山登山 (清掃活動を含む) 昼食(弁当) 下山
10時			清掃活動 昼食(学校給食)	
11時				
12時	昼食(学校給食)	昼食(学校給食)		
13時	学校林での森林観察・ ネイチャーゲーム 森林の働き	地域内の特別養護老人への訪問	カヌー体験	閉村式 ふり返り まとめ
14時		置物作り 茶道体験	大山ふれあい公園、常清滝 の見学【学活】	
15時				
16時				
17時	入村式		スタンプ練習	
18時	夕食	夕食	夕食	
19時	星空観察 入浴	スタンプ練習 百人一首 入浴	キャンプファイヤー 入浴	
20時 ～	就寝(宿泊施設)	就寝(宿泊施設)	就寝(宿泊施設)	

※【 】内の表示は教育課程に位置付けた教科等の略称です。

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：地元講師による動植物・星空の観察(森林観察、ネイチャーゲーム、星空観察、登山)
- (2) 奉仕：広島ふるさと村での清掃活動、大土山登山時の清掃活動
- (3) 文化芸術：地元講師による創作活動(パフォーマンス書道・置物作り)、茶道体験
- (4) 交流：特別養護老人ホームでの地元高齢者との交流、社会福祉施設での交流・老人擬似体験
- (5) その他：カヌー体験、和牛飼育体験



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
経費的支援		事例発表会の開催(県内の先進的な取組の情報共有)	広島県教育委員会
		本活動の効果測定の実施(調査データ等の提供)	
		地元講師・看護師・介助員の賃金	広島県教育委員会、三次市教育委員会
		交通費・宿泊費の経費の補助	三次市教育委員会
		本活動の実施に係る指導・助言	
情報面の支援		体験指導をお願いできる人材の紹介	【農山漁村体験の受入先】 広島ふるさと村 (運営：広島ふるさと村運営推進協議会)
		諸経費の補助制度の紹介	
		宿泊学習で使用する資料・教材の提供	
		地域内での事例発表会の開催	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望に対応できる担当者の配置	
		教員による下見への協力	
		宿泊・食事・体験の手配	
		地元講師の手配(動植物・星空の観察、創作活動)	
	活動中	食物アレルギー等を抱える各児童の配慮の準備(食材等)	
		学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		各体験活動場所の案内	
		食物アレルギー等を抱える各児童の配慮(食事等)	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・ 宿泊施設が校区内にあり、地区の協議会が運営をしているので、様々な工夫をすることができた。
- ・ 多くの地域の方々から児童に指導をしていただくことができた。
- ・ 施設が学校の近くにあるので、学校に移動して給食を食べることができた。
- ・ 児童が病気やけがをした場合に保護者と連携をしやすく、安心して活動をすることができた。
- ・ 地域の施設・自然・人についてより深く知り、ふるさとへの愛着を高めることができた。

【農山漁村体験の受入先】

広島ふるさと村(広島県三次市)

住 所 広島県三次市三和町上板木393番地

TEL 0824-52-4015 URL <http://hiroshima-furusatomura.com/>

小学校 広島県 尾道市 農山村 広島県 福山市	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
		受入先の分類	青少年教育施設
		体験の分類	自然、交流

1. 学校名：尾道市立吉和小学校（住宅地区・共学・全校児童数 247 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：ふるさとの良さをみつめる・つなぐ・広げる学習

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第5学年・43名（全員参加型）

（2）期日：平成28年8月26日（金）～8月29日（月）3泊4日

（3）宿泊先：青少年教育施設（福山市自然研修センター（ふくやまふれ愛ランド））3泊

5. ねらい

（1）心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、友達と協力してよりよい生活を築こうとする態度を養う。

（2）公共の施設を利用して様々な人と触れ合うことで、礼儀正しい態度をとることの大切さを知る。

（3）普段の生活とは異なる生活環境の中で、経験を広げ、集団の一員としての自覚を深める。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床・掃除	起床・掃除	起床・掃除
7時		朝の集い・朝食	朝の集い・朝食	朝の集い・朝食
8時	集合・出発式			
9時	移動	スコアオリエンテーリング 【体育】 ※制限時間内に点数が割り当てられたポストを回った点数の合計を競うオリエンテーリング	吉和カレーづくり【家庭】	人間関係づくりプログラム ・人間関係の構築具合の確認
10時			昼食	
11時	入所式			昼食
12時	昼食	昼食		
13時	人間関係づくりプログラム			退所式
14時	・意識付け	吉和うどんづくり【家庭】	「吉和を学ぶ」講演会	移動
15時	・グループによる課題解決を図る活動	・漁師の伝承料理である	・講師：吉和地区の住民	学校着
16時		・講師：吉和地区の住民		
17時	夕食	夕食	夕食	
18時				
19時	ナイトハイク	保護者が児童に宛てた手紙を読む	キャンプファイヤー	
20時～	入浴・就寝（青少年教育施設）	入浴・就寝（青少年教育施設）	入浴・就寝（青少年教育施設）	

※【 】内は当該活動を授業として位置付けた教科等を明記しています。

※ 長期を活かしたプログラムの展開

①4日間を通した人間関係の構築（初日：意識付け→複数の集団活動→最終日：構築具合の確認）

②郷土の大人との交流を通じた郷土愛の育成（吉和うどん・吉和カレーづくり、「吉和を学ぶ」講演会）

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：スコアオリエンテーリング、ナイトハイク、キャンプファイヤー
- (2) 交流：郷土の大人達との交流（吉和うどん・吉和カレーづくり、「吉和を学ぶ」講演会）



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
情報面の支援		長期宿泊体験に対応可能な受入先の情報公開	広島県教育委員会
		事例発表会の開催（県内の先進的な取組の情報共有）	
		本活動の効果測定への支援（調査データ等の提供）	
		本活動の実施に係る指導・助言	尾道市教育委員会
		施設情報・体験メニュー等の情報提供	【農山漁村体験の受入先】 福山市自然研修センター （ふくやまふれ愛ランド）
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		宿泊・食事・体験会場等の手配	
		屋内の会場・備品等の準備 （人間関係づくりプログラム、吉和うどん・吉和カレーづくり、「吉和を学ぶ」講演会）	
		屋外の会場・備品等の準備 （スコアオリエンテーリング、ナイトハイク、キャンプファイヤー）	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		食物アレルギー等を抱える各児童の配慮の準備（食材等の配慮）	
	活動中	引率教員の相談・要望に対応できる担当者の配置	
		食物アレルギー等を抱える各児童の配慮（食事等）	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・活動前に受入先の担当者が本校のねらいを理解してもらえていたので相談しやすかった。
- ・本校独自に企画した「郷土の大人との交流」の実施に向けて用意・準備に協力してもらえた。
- ・食物アレルギー等を持つ児童のために必要な配慮をすることができた。

【農山漁村体験の受入先】

福山市自然研修センター（ふくやまふれ愛ランド）（広島県福山市）

住 所 広島県福山市赤坂町大字赤坂甲 545 番地

TEL 084-952-1170

URL <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fureailand/>

小学校 広島県 府中市	農山村 岡山県 吉備中央町	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
			受入先の分類	青少年教育施設
			体験の分類	自然、文化芸術

1. 学校名：府中市立旭小学校（住宅地区・共学・全校児童数 242 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：話し合いと挑戦を通じて協力し合う宿泊体験活動

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第5学年・39名（全員参加型）

（2）期日：平成29年8月7日（月）～8月10日（木）3泊4日

（3）宿泊先：青少年教育施設（国立吉備青少年自然の家）3泊

5. ねらい

（1）様々な体験活動を通して、役割意識を持ち自ら考えて行動する力を育てる。

（かしこい子）

（2）様々な活動で、友達を互いに認め合い協力してやりきることによって自己肯定感を高める。

（やさしい子）

（3）集団宿泊学習を通して、集団生活でのルールや協力する大切さを学ばせる。

（つよい子）

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床、掃除	起床、掃除	起床、掃除
7時	集合・出発式	朝の集い 朝食	朝の集い 朝食	朝の集い 朝食
8時	移動			
9時		スコアオリエンテーリング ※制限時間内に点数が割り当て られたポストを回った点数の合 計を競うオリエンテーリング	カッター【体育】 ※オールによる手漕ぎボート	焼き板づくり【図画工作】
10時	入所式			
11時	アイスブレイク			
12時	昼食	昼食	昼食	昼食
13時	アイスブレイク カプラ ※積み木の一種	スコアオリエンテーリング のふり返し 野外炊事【家庭】 夕食	イニシアチブゲーム 野外炊事【家庭】 夕食	奉仕【道徳】
14時				移動 学校着
15時				
16時	夕食・入浴	夕食	夕食	
17時				
18時				
19時	班旗づくり(ビーイング)	入浴	キャンプファイヤー ふり返し	
20時～	スタンプ練習 ふり返し	ナイトハイク スタンプ練習 ふり返し		

※【 】内は当該活動を位置付けた教科等を明記しています。

※長期を活かしたプログラムの展開

①話し合いの重視（事前学習：話し合いによる決定→本活動：ふり返し等→事後学習：話し合う場の設定）

②負荷を段々と高めて絆を深める（スコアオリエンテーリング（2日目）、カッター（3日目））

③試行錯誤を通じてやり遂げる（野外炊事：2・3日目：1回目の失敗等→ふり返し→2回目に反映）

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：野外炊事、スコアオリエンテーリング、カッター、ナイトハイク、キャンプファイヤー
 (2) 文化芸術：焼き板づくり



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
情報面の支援		長期宿泊体験に対応可能な受入先の情報公開	広島県教育委員会
		事例発表会の開催(県内の先進的な取組の情報提供等)	
		本活動の効果測定の実施(調査データ等の提供)	
		本活動の実施に係る指導・助言	府中市教育委員会
		施設情報・体験メニュー等の情報提供	【農山漁村体験の受入先】 国立吉備青少年自然の家
受入先による農山漁村体験の支援	学習前	学校の相談・要望に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		宿泊・食事・指導者・会場等の手配	
		屋外活動の準備 (野外炊事、スコアオリエンテーリング、カッター、ナイトハイク、キャンプファイヤー)	
		屋内で行う焼き板づくりの会場・備品等の準備	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		食物アレルギー等を抱える各児童の配慮の準備(食材等)	
	学習中	学校の相談・要望に対応できる担当者の配置	
		食物アレルギー等を抱える各児童の配慮(提供する食事)	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・活動前に受入先の担当者と本活動の意図や指導方法などの共通理解を図ったので、学習中もしっかりと連携して行うことができた。
- ・教員だけでは行えない活動には指導者を手配してもらえたことができた。
- ・食物アレルギー等を抱える各児童のために必要な配慮を行うことができた。

【農山漁村体験の受入先の紹介】

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立吉備青少年自然の家（岡山県吉備中央町）

住 所 岡山県加賀郡吉備中央町吉川 4393-82

TEL 0866-56-7232（活動・教育事業に関するお問い合わせ先）

URL <https://kibi.niye.go.jp/>

小学校
福岡県
岡垣町

農山漁村
福岡県
岡垣町

農山漁村
体験活動
の要点

体験の期間

4泊5日

受入先の分類

その他

体験の分類

自然、奉仕、職業観（農・他）、交流

1. 学校名：岡垣町立内浦小学校（農山漁村地区・共学・全校児童数 65 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：宿泊体験教室

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第 5 学年・16 名（全員参加型）

（2）期日：平成 30 年 5 月 21 日（月）～ 5 月 25 日（金）4 泊 5 日

（3）宿泊先：社会福祉施設（岡垣町立ふれあい宿泊施設「若潮荘」）4 泊

5. ねらい

社会生活を営む上で必要な基本的な生活習慣や自然・職場・交流体験を仲間との生活の中で、実際に自ら体験することにより、子供達の自主性・主体性を伸長させること

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
6 時		朝食づくり 海岸清掃	朝食づくり 海岸清掃	朝食づくり 海岸清掃	朝食づくり 海岸清掃
7 時		朝食 片付け・整理整頓	朝食 片付け・整理整頓	朝食 片付け	朝食・片付け・整理整頓・掃除
8 時	開所式(学校)				退所式(若潮荘)
9 時			学校での学習 (1～4時間目)		サイクリング (芦屋町立芦屋小まで)
10 時		学校での学習 (1～4時間目)	※3時間目町長による 講話	岡垣町立海老津小・ 吉末小の児童との交 流	芦屋町立芦屋小学校 の児童との交流
11 時	湯川山の登山	昼食	昼食		給食
12 時					閉所式(学校) 下校
13 時					
14 時		町内での職場体験	町内での職場体験	若潮荘着 荷物整理	
15 時	入所式(若潮荘) 夕食づくり				
16 時	夕食 片付け	若潮荘着 夕食づくり	若潮荘着 夕食づくり	夕食づくり 夕食	
17 時	入浴 洗濯	夕食 片付け	夕食 片付け	片付け 入浴	
18 時		入浴 洗濯	入浴 洗濯	洗濯	
19 時	講話(農業)				
20 時	一日のふり返し	講話(星空観察) 一日のふり返し	キャンプファイヤー 一日のふり返し	一日のふり返し	
21 時 ～	就寝:社会福祉施設 (福岡県岡垣町)	就寝:社会福祉施設 (福岡県岡垣町)	就寝:社会福祉施設 (福岡県岡垣町)	就寝:社会福祉施設 (福岡県岡垣町)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：登山、星空観察、キャンプファイヤー、サイクリング
- (2) 奉仕：海岸清掃
- (3) 職業観：講話（農業）、町内での職場体験（町内の事業所、デイサービス、保育所）
- (4) 交流：町長（講話）、町内小学校（海老津小・吉末小）・芦屋町立芦屋小学校の児童等



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		指導員の手配	地域ボランティア
経済的支援		交通費、宿泊費の負担	岡垣町教育委員会
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	教員による下見の協力	【農山漁村体験の受入先】 〈町内での事前調整〉 岡垣町教育委員会 〈宿泊〉 岡垣町立ふれあい宿泊施設「若潮荘」
		宿泊施設による手配（会場・調理場・入浴・洗濯場所等）	
		町内小学校、職場体験先との調整	
		講話（農業・星空観察の話し手、町長）の手配	
		移動手段の手配	
		アレルギー・障がい等を抱える各児童の配慮の手配	
	活動中	教員による指導への協力	
	活動後	諸費用の一括精算の手続き（精算業務の簡素化）	
		事後学習・発表会等への人材派遣	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・児童が中学校で一緒になる町内の吉木小学校、海老津小学校の児童との交流の機会を設けてもらったので、各校の児童のつながりを構築することができた。
- ・岡垣町立ふれあい宿泊施設「若潮荘」は町の高齢者対象の社会福祉施設であるが、通学合宿を行うために宿泊機能・洗面所・調理場を設けているので、充実した宿泊学習を行うことができた。

【農山漁村体験の受入先】

(1) 町内での事前調整：岡垣町教育委員会

(2) 宿泊：岡垣町立ふれあい宿泊施設「若潮荘」（福岡県岡垣町）

小学校 福岡県 八女市 農山漁村 福岡県 筑前町	農山漁村 体験活動 の要点	体験の期間	3泊4日
		受入先の分類	青少年教育施設
		体験の分類	自然、文化芸術、交流

1. 学校名：八女市立岡山小学校（住宅・商業・農山村地区・共学・全校児童数 381 名）

2. 宿泊体験の位置付け：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：長期自然体験学校

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第5学年・60名（全員参加型）

（2）期日：平成29年10月10日（水）～10月13日（土）3泊4日

（3）宿泊先：青少年教育施設(国立夜須高原青少年自然の家:テント2泊、ディスカバリーハウス1泊)

5. ねらい

（1）長期の自然体験活動等通して、グループの意識やコミュニケーション能力を高めるとともに、望ましい人間関係の育成を図り、仲間を思いやる気持ち・協力する態度を育む。

（2）集団生活を通して基本的な生活習慣や社会生活のマナーを身につける。

（3）自然に親しむ活動を通して、自然の美しさや自然から教えられるものを感じ取る。

（4）困難克服的な活動で耐性や課題解決能力を育てる。

	1日目	2日目	3日目	4日目
6時		起床・朝読み 朝食 登山準備	起床・朝読み 朝食作り【共同活動体験】 朝食	起床 朝読み 整理整頓
7時				
8時			テント片付け	朝食
9時	出発式			テント撤収 片付け 掃除
10時	移動(バス)		焼き杉作り 【創造・創作体験】	ふりかえり
11時	入所式(青少年教育施設着)	大根地山の登山 【困難克服体験】		
12時	昼食	途中、昼食(弁当)	昼食	昼食
13時	テント設営【共同活動体験】			退所式(青少年教育施設発)
14時	登山説明会		草スキー・ボブスレー 【楽しみ活動体験】	移動(バス)
15時		青少年教育施設・着		学校着
16時	野外調理(夕食作り) 【共同活動体験】	野外調理(夕食作り) 【共同活動体験】	野外調理(夕食作り) 【共同活動体験】	
17時	夕食	夕食	夕食	
18時				
19時	点検 入浴	点検 入浴	点検・入浴	
20時			キャンプファイヤー	
21時 ～	係・班会議、就寝準備 就寝:テント(福岡県筑前町)	係・班会議、就寝準備 就寝:テント(福岡県筑前町)	係・班会議、就寝準備 就寝:ディスカバリーハウス (福岡県筑前町)	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：野外調理、登山、草スキー・ボブスレー
- (2) 文化芸術：焼き杉作り
- (3) 交流：学生ボランティアとの交流



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		協力者（各班に配置する学生ボランティア）の派遣	福岡教育大学
情報面の支援		施設の体験メニュー・受入体制等に関する情報提供	国立夜須高原青少年自然の家
		宿泊学習の資料・教材の提供	
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	実行委員会による本活動計画の協議・確認、共通理解の構築等（学校・PTA・福岡教育大学・国立夜須高原青少年自然の家）	【農山漁村体験の受入先】 国立夜須高原青少年自然の家
		学校の相談・要望に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいや予算額に応じた活動内容の提案・調整	
		宿泊学習の計画策定の協力	
		事前学習・保護者説明会への人材派遣	
		施設内の食事・宿泊・体験・用具等の手配	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		現地での緊急連絡体制・災害対策の手配	
		アレルギー等を持つ各児童への配慮の準備	
	活動中	引率教員の相談・要望に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導への協力	
		各活動場所の案内	
		現地での緊急連絡体制の設置	
	活動後	実行委員会による本宿泊活動の振り返り等（学校・PTA・福岡教育大学・国立夜須高原青少年自然の家）	
		長期自然体験学校の報告会（学級懇談会）への参加	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・実行委員会のメンバーとして本活動計画の協議・確認、共通理解の構築等を図ることができた。
- ・野外・屋内での豊富なプログラムがあり、適切に指導をしてもらえることができた。
- ・豊かな自然に触れる活動、雨天時にも対応できる活動を用意してもらえた。
- ・施設での食事にも必要に応じて利用できた。

【農山漁村体験の受入先】

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家（福岡県筑前町）

住 所 福岡県朝倉郡筑前町三筒山 1103

TEL 0946-42-5811

URL <http://yasu.niye.go.jp/top.shtml>

小学校
東京都
江戸川区

農山村
新潟県
妙高市

農山漁村
体験活動
の要点

体験の期間

6泊7日

受入先の分類

受入地域協議会

体験の分類

自然、職業観（農）、文化芸術、交流

1. 学校名：江戸川区立小松川第二小学校（住宅地区・共学・全校児童数 760 名）

2. 宿泊学習の位置づけ：自然の中での集団宿泊活動

3. 活動名：セカンドスクール

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第 6 学年・165 名（全員参加型）

（2）期日：平成 29 年 9 月 22 日（金）～9 月 28 日（日）6 泊 7 日

（3）宿泊先：青少年教育施設（国立妙高青少年自然の家）5 泊

農家民宿・農家（ホームステイ・分泊）1 泊

5. ねらい

（1）自然の中での諸活動により、自然の美しさ、不思議さなどを体感するとともに、自然との関わり方について実践的理解を深める。

（2）集団生活の中で、新しい自分に気づき、他者理解を深め、協力し、助け合って活動する心と態度を育てる。

（3）自ら課題を見つけ、調べ、まとめ、発表する力を育てる。

（4）ルールとマナーを守り、安全に留意して行動する態度を養う。

（5）あいさつ、返事、感謝の気持ち、思いやり、謙虚さ、時間厳守を意識する態度を育てる。

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目	6 日目	7 日目
6 時		起床 朝のつどい 朝食	起床 朝食（自炊） （24 時間自活キ ャンプの続き）	起床 朝のつどい 朝食	起床 朝食の手伝い 朝食	起床 朝のつどい 朝食	起床 朝のつどい 朝食
7 時	学校集合						
8 時	学校発	荷物整理		民泊準備 移動			部屋の掃除・ 荷物整理
9 時			荷物整理 自由時間		民泊ごとの体 験	自由時間 準備	妙高市発
10 時	移動	24 時間自活 キャンプ （キャンプ場）		各民泊着 （各班で分散）			移動
11 時				昼食の手伝い 昼食	昼食の手伝い 昼食	大洞原ハイキ ング トマトとトウモロ コシの収穫（住 民との交流） 昼食	松代ふれあいの旅
12 時	昼食（弁当）	昼食（自炊）	昼食	民泊ごとの体 験（例：畑仕事 や野菜の収穫 作業、笹寿司 作り、トレッキ ング、民宿の 仕事の手伝い 等）	移動		昼食 お土産購入
13 時	妙高市・青少 年教育施設着 開校式・荷物移 動・避難訓練	各班での自主 的な計画・協 力による活動	オリエンテーリ ング			自然体験	長野発
14 時			森の壁かけ作り		青少年教育施 設着 荷物整理 自由時間	自由時間	移動
15 時	周辺散策					キャンドルセレ モニー準備	
16 時				夕食の手伝い 夕食	夕食	夕食	
17 時	夕食	夕食（自炊）	夕食		夕食	夕食	
18 時	入浴		入浴	民泊の家族と の団らん	入浴	入浴	学校着 解散
19 時	マイスプーン 作り	テント・シュラ フを使用	星空観察 就寝準備		きもだめし 就寝準備	キャンドルセレ モニー 就寝準備	
20 時	就寝準備			入浴			
21 時 ～	就寝（青少年 教育施設）	就寝（テント）	就寝（青少年 教育施設）	就寝（農家民 宿・農家）	就寝（青少年 教育施設）	就寝（青少年 教育施設）	

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：24時間自活キャンプ（自炊・テント泊）、オリエンテーリング、星空観察、ハイキング
- (2) 職業観：民泊ごとの体験、収穫体験
- (3) 文化芸術：マイスプーン作り、森の壁かけ作り
- (4) 交流：民泊の家族や収穫体験の協力者等との交流



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
経費的支援		指導補助員、看護師の費用(賃金・滞在費)	江戸川区教育委員会
情報面の支援		民泊先の情報提供 妙高市の地域資源・受入体制等に関する情報提供 実施報告会の開催	【農山漁村体験の受入先】 妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		教員による下見の協力	
		学校のねらいと予算額に応じたプログラムの提案・準備	
		事前学習への人材派遣	
		妙高市内の民泊先・体験場所・指導者・移動手段等の手配	
		青少年教育施設の手配(宿泊・食事・体験・会場等)	
		荒天時の代替プログラムの用意	
		妙高市内での緊急連絡体制・災害対策の手配	
		受入先による損害賠償責任保険の加入	
		アレルギー・発達障がい等を抱える各児童の配慮の手配	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		引率教員による指導への協力	
		妙高市内での各活動場所の移動・案内	
		現地での緊急連絡体制の設置	
	活動後	妙高市内での諸費用の一括精算(精算の簡素化)	
成果品等の送付			

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・児童が人や自然と体験をするためのねらいにあったプログラムを提供してくれた。
- ・毎年同じ方に担当してもらい、計画段階から相談にのってもらえた。
- ・児童数に合わせて、宿泊先の手配や移動の手段など、希望に沿って臨機応変に対応してくれた。
- ・各児童に応じて配慮を行ってもらえた。
- ・各宿泊先での窓口として一括対応してくれ、教員の移動の支援等にも人材を配置してくれた。

【農山漁村体験の受入先の紹介】

（一社）妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会（新潟県妙高市）

住 所 新潟県妙高市関山6186-1

TEL 0255-82-3935 URL <http://myoko-gt.com>

小学校
福岡県
古賀市

農山漁村
福岡県
2市3町

農山漁村
体験活動
の要点

体験の期間

4泊5日

受入先の分類

青少年教育施設、その他

体験の分類

自然、奉仕、交流

1. 学校名：古賀市立青柳小学校（住宅・農村地区・共学・全校児童数 284 名）

2. 宿泊体験の位置付け：総合的な学習の時間

3. 活動名：青小キャラバン 2017～一期一会、共に生きるあなたのために～

4. 学年・人数・期日・宿泊先

（1）学年・人数：第 6 学年・48 名（全員参加型）

（2）期日：平成 29 年 10 月 16 日（月）～10 月 20 日（金）4 泊 5 日

（3）宿泊先：青少年教育施設 2 泊、公民館 1 泊、小学校 1 泊

5. ねらい

- （1）【問題を解決する力】それぞれの立場の中で、全体が成功するために自分には何ができるのか、また、自他共に思い出に残るキャラバンにするためには何が必要かといった自らの課題を見つけ、仲間と協力しながら、よりよい処理や判断を行い、目的を達成し、自己実現の喜びを味わう。
- （2）【主体的、創造的、協同的な学び方・考え方・態度】綿密なプランニングセッションを行いながら、粘り強く計画を立て、成功させるための手段を、多面的・多角的にとらえ、他者と協力し、あらゆる方法で情報を収集する（人・本・インターネット・事前体験等）。また、活動の足跡や、感謝の気持ちなどを表現する。
- （3）【自己の生き方を考える力】キャラバンの旅の様々な活動を通して、今の自分の生活、及びそのような生活を支えてくれる両親や多くの人々に感謝し、衣食住における自分の生活のあり方を見直す。また、社会や自然の中に生きる一員として、何をすべきか、どのようにすべきかを考える。

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目	5 日目
6 時		起床・清掃	起床・清掃	起床・清掃	起床・清掃
7 時	集合	つどい・朝食	朝食	つどい・朝食	つどい・朝食
8 時	出発式	出発	出発	出発	出発
9 時	徒歩移動(11.4km)	徒歩移動(12.5km)	徒歩移動(13.4km)	徒歩移動(12.5km)	徒歩移動(13.4km)
10 時	募金活動・交流				
11 時	(トリアス久山)				
12 時	昼食	昼食	昼食	昼食	昼食
13 時	徒歩移動(5.1km)	徒歩移動(10.8km)	徒歩移動(12.4km)	徒歩移動(6km)	徒歩移動(5km)
14 時			募金活動・交流	募金活動・交流	募金活動・交流
15 時			(福岡教育大学)	(道の駅宗像)	(サンリブ古賀)
16 時	移動距離(16.5km)	移動距離(23.3km)	移動距離(25.8km)	移動距離(18.5km)	募金活動・報告会
17 時					(古賀市役所)
18 時	夕食	夕食	夕食	夕食	徒歩移動(2.8km)
19 時	入浴	入浴	入浴	入浴	
20 時	振り返り	振り返り	振り返り	振り返り	
21 時	就寝：福岡県立社会教育総合センター(篠栗町)	就寝：青柳区公民館(古賀市)	就寝：岡垣町立山田小学校(岡垣町)	就寝：福岡県立少年自然の家「玄海の家」(宗像市)	

※全活動時間を総合的な学習の時間に位置付けています。

※本活動終了後、東峰村立東峰学園(小中一貫校)との交流会を開催〔①歓迎の言葉、②青柳小からのメッセージ(キャラバン紹介、ビデオレター、合唱披露、募金贈呈)、③東峰学園からのメッセージ(お礼の言葉、合唱披露)、④閉会〕

6. 実施した農山漁村体験

- (1) 自然：総移動距離 105.3km 徒歩移動による自然環境の体感
- (2) 奉仕：九州北部豪雨による東峰村復興支援募金活動
(事後学習：東峰村立東峰学園での交流会：募金贈呈、児童間の交流等)
- (3) 交流：募金活動を通じた交流



7. 活用した学校外の組織・施設による支援策

		学校外の施設・組織による支援策	支援先の名称
人的支援		保健師・看護師の確保・派遣	青柳小学校PTCA(保護者会)
		車両による荷物の運搬	
		緊急車両による随行	
		徒歩による随行(安全指導)	
経済的支援		バス・荷物運搬車両の借上料の負担	古賀市教育委員会
		保護者ボランティアの昼食代の負担	青柳小学校PTCA(保護者会)
情報面の支援		宿泊学習の効果測定方法(IKR 法)の紹介	(独)国立青少年教育振興機構
		実施報告会の開催	古賀市、古賀市教育委員会
受入先による農山漁村体験の支援	活動前	学校の相談・要望等に対応できる担当者の配置	【農山漁村体験の受入先】 <募金活動> トリアス久山、福岡教育大学 道の駅宗像、サンリブ古賀 <宿泊> 福岡県立社会教育総合センター 古賀市青柳区公民館 岡垣町立山田小学校 <事後学習> 東峰村立東峰学園
		教員による下見の協力	
		募金活動の実施場所の手配	
		宿泊先の手配(青少年教育施設、公民館、小学校体育館)	
	活動中	引率教員の相談・要望等に対応できる担当者の配置	
		宿泊・募金活動場所の提供	
		他団体や校区での適宜調整	
	活動後	東峰村立東峰学園での交流会の開催 (募金贈呈、児童間の交流等)	

【受入先の支援を活用した学校側のメリット】

- ・多くの関係者に本校のねらいに理解・協力いただいたことで、本宿泊学習の実施につながった。
- ・募金活動や事後学習での交流を通じて、東峰村復興支援の意義を改めて気づくことができた。
- ・児童の「本当の出会い、大きな交流」に発展させることができた。

【農山漁村体験の受入先】

- (1) 募金活動：トリアス久山(久山町)、福岡教育大学(宗像市)、道の駅宗像(宗像市)、サンリブ古賀(古賀市)
- (2) 宿泊：福岡県立社会教育総合センター(篠栗町)、古賀市青柳区公民館(古賀市)、岡垣町立山田小学校(岡垣町)
- (3) 事後学習：東峰村立東峰学園(東峰村)